

- 地域の信頼を得て集積・拡大が続く水田農業を、米穀、野菜、畜産、加工・飲食の4部門で展開
- 企業誘致が進む地域で他産業の労働環境を考慮し、労働力確保につなげる

概要

【設立】 1986年4月

【代表者】 照井 勝也

【売上】 58,900万円

【事業内容】 農畜産物の生産・加工販売、
農作業の受託、飲食店経営

【経営面積】 水稻110ha、飼料用米130ha、
大豆290ha、小麦157ha、蕎麦160ha、
野菜類1.2ha、肉用牛250頭等

【主要取引先】 農協、地元卸売・製粉加工業者等

【従業員数】 108名（男性64名女性44名）

【ホームページ】 seibu-kaihatsu.com



労働者の負担軽減等の特徴的な取組

【人材育成】

- ・入社1年目は、様々な作業を体験させ農業技術の基礎を習得させている。
- ・入社5年目以降、岩手大学主催のアグリフロンティアスクール(1年間)に入学させ、経営全般のノウハウを研鑽。
- ・各種免許・資格の取得をすすめるため、取得費用を助成。

【労働者の負担軽減】

- ・他産業の労働環境に近づけるため、規程類を整備し、週休2日制の導入など労働時間の短縮や、子育て世代が働きやすい環境づくりに取り組んでいる。
- ・全従業員にスマートフォンを貸与し、勤怠管理及び圃場管理システムを導入。
- ・トラクター自動操舵システム等を導入し、スマート農業を体系的に実践。

キャリアプランイメージ

OJT(4年:雇用就農資金活用)

- ・農業技術の基礎を習得
- ・免許・資格取得の督励

主任(5年目～)

- ・担当作目の生産管理
- ・経営ノウハウの研鑽(アグリフロンティアスクール)

各部門課長(10年目～)

- ・経営計画の策定・執行
- ・人材の確保・育成